

情報活用能力体系表【釧路市版 第1版】（令和5年3月 釧路教育研究センター）

		分類		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
要素	資質・能力	学習内容	小項目				
問題解決・探究における情報活用	知識及び技能	情報を活用した問題の発見・解決等の方法	見通し・計画	情報活用の見通しをもつことができる。	目的を意識して、情報活用の見通しを立てることができる。	課題解決のために、情報活用の計画を立案・調整することができる。	課題解決のために、情報活用の計画を立案し、評価・改善することができる。
			情報収集のしかた	身近なところから情報を収集することができる。	調査や資料等から情報を収集することができる。	調査や実験等を組み合わせながら、情報を適切に収集することができる。	調査を設計し、情報を効果的に収集することができる。
			整理のしかた	絵や図、簡単な表等を用いて情報を整理することができる。	「考えるための技法」、表やグラフ等を用いて情報を整理することができる。	目的に応じて、「考えるための技法」、適切な表やグラフを用いて情報を整理することができる。	目的に応じて、「考えるための技法」、適切な表やグラフを用いて情報を統計的に整理することができる。
	思考力・判断力・表現力等	情報を活用する力	取捨選択	課題解決に役立つ情報を選ぶことができる。	根拠を明確にして、課題解決に役立つ情報を選ぶことができる。	信頼性や信憑性を考えて、情報を取捨選択することができる。	重要度や代表性を考えると、情報を階層化することができる。
			情報の読み取り	一つの資料から視点を持って情報を読み取ることができる。	複数の資料から傾向や変化を読み取ることができる。	複数の情報から共通・相違点を見つけることができる。	複数の情報から矛盾点や欠けている情報を見つけることができる。
			情報を客観的に捉え、整理・分析、判断する力(批判的思考)	事実や根拠に基づき、分析・判断することができる。	複数の事実や根拠に基づき、適切に分析・判断することができる。	複数の事実や根拠に基づき、客観的に分析・判断することができる。	できるだけ多くの事実や根拠に基づき、論理的・多角的に分析・判断することができる。
			情報を結びつけて新たな意味を見いだす力(創造的思考)	情報から分かったことをまとめることができる。	情報を比較したり、関連付けたりして新たな意味を見いだすことができる。	得られた情報について客観的に考察し、新たな意味を見いだすことができる。	目的に応じて収集した情報を、論理的・多角的に考察し、新たな意味を見いだすことができる。
			表現・発信	相手を意識して表現し、情報の発信・発信をすることができる。	相手や目的を意識して表現し、適切に情報の発信・発信をすることができる。	相手や目的に応じて表現し、効果的に情報の発信・発信をすることができる。	相手や目的に応じて表現を工夫し、メディアを組み合わせる効果的に情報の発信・発信をすることができる。
			情報活用の評価・改善	情報活用を振り返り、よさを確かめることができる。	情報活用を振り返り、改善点を見いだすことができる。	情報活用を振り返り、改善点や効果を見いだすことができる。	情報活用を振り返り、効率化の視点から評価し、改善することができる。
	学びに向かう力・人間性等	情報活用の態度	多角的に情報を検討しようとする態度	事実と関係する情報を見つけようとする。	情報同士のつながりを見つけようとする。	情報を構造的に捉えようとする。	事実と情報をその結び付きの視点から捉えようとする。
				情報を複数の視点から捉えようとする。	新たな視点を受け入れて検討しようとする。	物事や情報を批判的に考察しようとする。	物事や情報を批判的に考察し、判断しようとする。
			試行錯誤し、計画や改善しようとする態度	問題解決における情報の大切さを意識して行動しようとする。	目的に応じて情報活用の見通しを立てようとする。	複数の視点を想定して計画しようとする。	条件を踏まえて情報活用の計画を立てたり、試行したりしようとする。
				情報活用を振り返り、よさを見つけようとする。	情報活用を振り返り、改善点を見いだそうとする。	情報活用を振り返り、効果や改善点を見いだそうとする。	情報活用を振り返り、観点を決めて適切に評価・改善しようとする。

↑↑↑ 情報活用の土台となる知識及び技能を習得させながら ↑↑↑

要素	学習内容	小項目	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
タブレットの基本的操作	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	基本操作	電源・音量・充電、ログイン・ログアウト、写真・動画の撮影、音声の記録をすることができる。	入力モード切替、数値入力、切り取り、コピー、貼り付けをすることができる。		
		文字入力	手書き入力、音声入力、かな入力による文字の入力を行うことができる。	ホームポジションでローマ字入力することができる。(30～40文字/分程度)	ある程度のタッチタイピングでローマ字入力することができる。(40～50文字/分程度)	仮名、漢字まじりでローマ字入力することができる。(50～60文字/分程度)
		その他の入力	タッチパネルの基本操作(1本指、2本指)、画面タッチをすることができる。	文字の範囲選択、コピー＆ペースト、文字飾り、画像の貼り付け、活用をすることができる。	簡単なショートカットキーを活用することができる。	積極的にショートカットキーを活用することができる。画像の編集をすることができる。
		情報の検索スキル	情報を閲覧したり、教師が提示した単語で検索したりすることができる。	必要な単語を考えて検索をすることができる。教師が提示したURLで検索をすることができる。	論理演算子(AND、OR、NOT)を用いた検索をすることができる。ブックマーク、お気に入りを活用することができる。	ファイル名やフォルダ名でドライブ内を検索することができる。▼から、ファイルの種類や編集権限、更新日などで検索をすることができる。
		データ管理	任意の場所へファイルを保存することができる。内蔵カメラの画像を保存、削除することができる。	ファイルをコピーできる。クラウド上のファイルの共有設定ができることや、閲覧、編集等の権限があることを知っている。	フォルダとファイルをツリー構造で分類することができる。	ドライブの種類を使い分け、目的に応じてデータを保管できる。検索しやすい名前を付けて保存することができる。

要素	学習内容	小項目	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
アプリケーションの基本的操作	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	Google Classroom	Classroomに入ることができる。教師の投稿を閲覧することができる。	教師の投稿(選択式や記述式の質問)に返信したり、情報を共有・投稿したりすることができる。	作成したアンケートや各種データを、ストリームに張り付けすることができる。	
		Google Forms	選択式の質問に回答することができる。	記述式の質問に回答することができる。	アンケートを作成し、クラスの友達の考えを集約することができる。	アンケートを作成し、校内の友達の考えを集約することができる。
		Google スライド		文字入力を基本とし、写真などの画像を取り入れたスライドを作成することができる。	プレゼンテーションの作成、発表をすることができる。スライドを共同で編集し、発表物を作成することができる。	マルチメディアを利用した効果的なプレゼンテーションをすることができる。
		Google ドキュメント	教師作成のフォーマットに入力することができる。	文字入力を基本とし、写真などの画像を取り入れた文章を作成することができる。	図形や写真などを活用した文書の作成をすることができる。文書を共同で編集し、発表物を作成することができる。	表やグラフを活用して、効果的に文書作成をすることができる。
		Google スプレッドシート				関数を利用した計算や、グラフに表すことができる。
		Google ドライブ	データをアップロードすることができる。	ファイルのダウンロードやファイル名を変更することができる。	ファイルの共有や整理をすることができる。	
		Google Jamboard	教師作成のJamを使い、付箋や画像を動かすなどの簡単な操作をすることができる。	教師作成のJamを使い、付箋に記入したり、画像に書き込んだりすることができる。	Jamを共同で作成し、ペアやグループで交流をすることができる。	
		Google Meet	家庭や別室から一人で授業に参加することができる。	授業に参加し、発言したり、チャット機能を活用したりすることができる。	レイアウト変更や全画面表示などのオプション機能を適切に活用することができる。	画面共有しながら、プレゼンテーションをすることができる。